

進んでいる。今回の調査でも新しいデパートがオープンしており、その中にはマクドナルド、ブランド化粧品なども参入している。衣類、電化製品、雑貨などは日本とほとんど変わらず入手できるものと考えられる。

4-5 その他

現在、湖北省には5人の青年海外協力隊員が派遣されており、生活環境や湖北省事情について情報を得ることができるものと考えられる。

また、JICA農業技術プロジェクトについての実施も検討されており、実施された場合、お互いの情報交換についても重要になるものと考えられる。

青年海外協力隊員派遣一覧

- (1) 湖北省团咸寧市人民医院（臨床検査技師：村上恵美子隊員、96/4まで）
- (2) 湖北省黄冈第一人民病院（看護婦：末次貴代隊員、96/7まで）
- (3) 湖北広播電視大学（日本語教師：高本牧恵隊員、96/7まで）
- (4) 黄冈師範高等専科学校（日本語教師：長江春子隊員、96/7まで）
- (5) 湖北省武漢外国語学校（日本語教師：松田みゆき隊員、96/12まで）

附 属 资 料

進んでいる。今回の調査でも新しいデパートがオープンしており、その中にはマクドナルド、ブランド化粧品なども参入している。衣類、電化製品、雑貨などは日本とほとんど変わらず入手できるものと考えられる。

4-5 その他

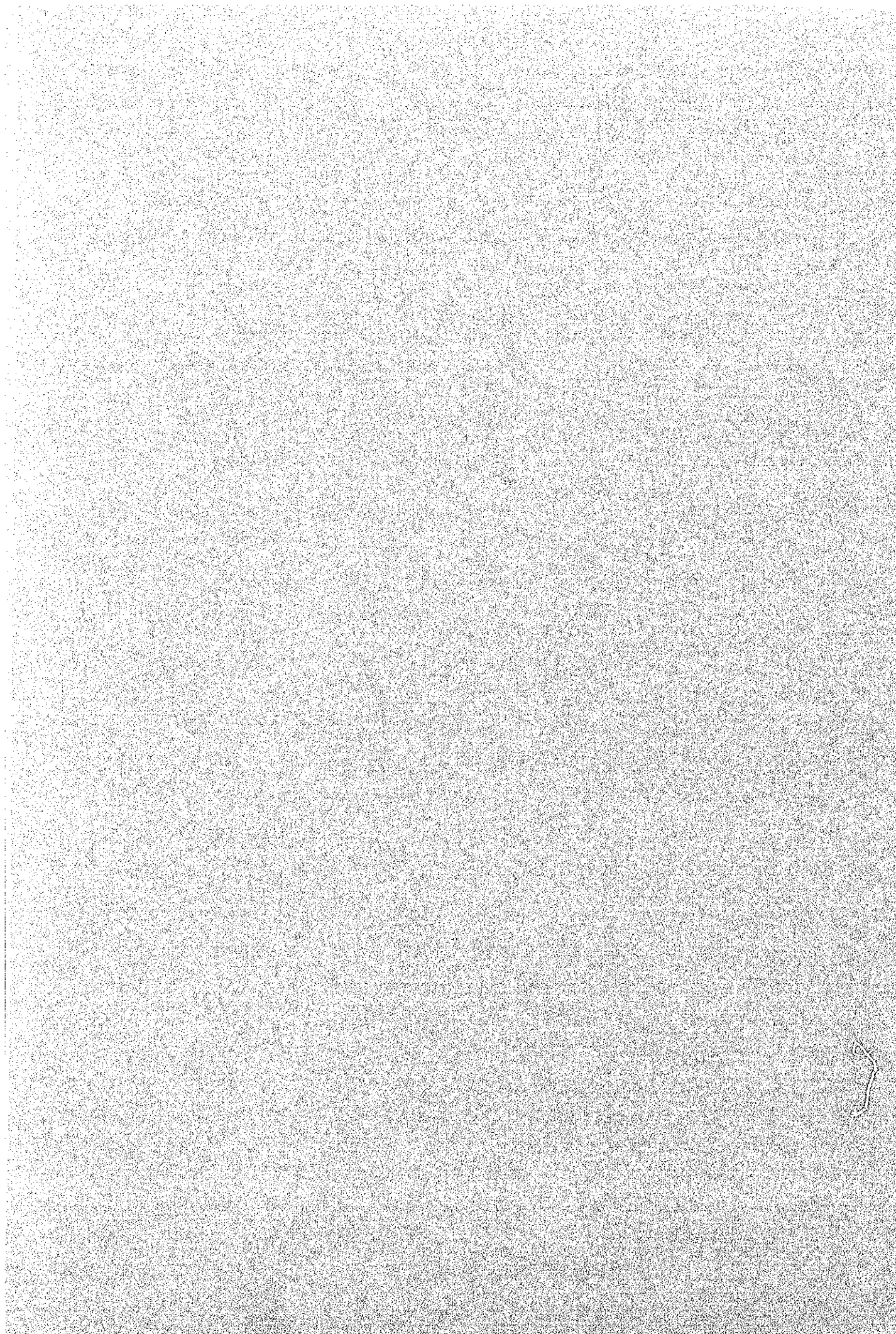
現在、湖北省には5人の青年海外協力隊員が派遣されており、生活環境や湖北省事情について情報を得ることができるものと考えられる。

また、JICA農業技術プロジェクトについての実施も検討されており、実施された場合、お互いの情報交換についても重要になるものと考えられる。

青年海外協力隊員派遣一覧

- (1) 湖北省開成寧市人民医院（臨床検査技師：村上恵美子隊員、96/4まで）
- (2) 湖北省黄冈第一人民病院（看護婦：末次貴代隊員、96/7まで）
- (3) 湖北廣播電視大学（日本語教師：高本牧恵隊員、96/7まで）
- (4) 黄冈師範高等専科学校（日本語教師：長江春子隊員、96/7まで）
- (5) 湖北省武漢外国語学校（日本語教師：松田みゆき隊員、96/12まで）

附 属 资 料



実施協議調査団員

団長	林野庁林木育種センター所長	喜多 弘
林業技術協力	林野庁	齊田 佳昭
育種計画	林野庁林木育種センター九州育種場育種課長	宮田 増男
種子源造成	林野庁林木育種センター東北育種場 育種課第二育種室長	河野 耕蔵
通訳	(財)国際協力センター研修監理員	三澤 厚子
業務調整	JICA林業水産開発協力部 林業技術協力投融资課職員	坂村 武

中国湖北省林木育種計画実施協議調査日程

1995年10月18日～1995年11月1日(15日間)

-
- 10月18日(水) 東京→北京 JICA事務所表敬協議
 - 10月19日(木) 大使館、国家科学技術委員会表敬、林業部表敬、協議
 - 10月20日(金) 林業部協議
 - 10月21日(土) 団内打ち合わせ
 - 10月22日(日) 北京→武漢
 - 10月23日(月) 現地調査 武漢→荊州(嘉魚県ボブラ採穂園視察)
 - 10月24日(火) 現地調査 荊州→宜昌(宜昌市林科研究所バビショウ採種園視察)
 - 10月25日(水) 宜昌→武漢
 - 10月26日(木) 湖北省林業庁協議、現地調査(林木種苗ステーション視察)
 - 10月27日(金) 湖北省林業庁協議、現地視察(機材市場視察)
 - 10月28日(土) 武漢→北京
 - 10月29日(日) 団内打ち合わせ
 - 10月30日(月) 林業部協議
 - 10月31日(火) R/D署名、大使館、JICA事務所報告
 - 11月 1日(水) 北京→東京

主要面談者

国家科学技術委員会	国際合作司日本処処長付	封 兆良
〃	〃 副処長	葉 冬柏
中国林業部	国際合作司長	楊 禹暉
〃	〃 經濟合作処副処長	章 紅燕
〃	〃 プロジェクト担当、通訳	劉 立軍
湖北省林業庁	庁長	韓 永
〃	副庁長	肖 華芳
〃	森防検疫ステーション所長	劉 安安
〃	外事弁公室計画処副処長	郭 相賓
〃	営林処処長	柯 展翹
湖北省科学技術委員会	処長	李 炎寬
湖北省林木種苗管理站	站長	王 宏乾
〃	副站長、林業高級工程師	江 建生
〃	副站長、林業工程師	候 開拳
〃	良種繁育科、科長、高級工程師	王 羅榮
〃	〃 、高級工程師	施 志平
〃	〃 、工程師	邱 竜広
〃	〃 、助工程師	汪 建巨
〃	經營管理科、科長、工程師	宋 丛文
〃	通訳	肖 平
湖北省嘉魚県	人民政府、県長	程 家声
〃	林業局、副局長	明 廷剛
〃	〃	蔣 茂江
〃	林業局、工程師	徐 帮新
荊沙市	林業局局長	雷 万林
〃	〃 副局長	吳 金勇
〃	〃	湯 林全
〃	荊州区紅旗林場場長	劉 正元
〃	〃 副場長	夏 応軍

荊沙市	林業科学研究所所長	陳 京元
”	” 副所長	文 雪峰
”	林業局、副科長	丁 次平
宜昌市林業局	副局長	陳 春生
”	科長	鄭 承金
” 林業科学研究所	所長	鄒 德金
”	副所長	祁 万宜
”	総工程師	周 新成
在中国日本大使館	参事官	河原昌一郎
	二等書記官	原川 忠典
JICA中国事務所	所長	熊岸 健治
	次長	藤田 広巳
	職員	熊谷 晃子

中国湖北省林木育種計画に係る
日本の技術協力に関する日本側実施協議調査団と
中華人民共和国政府関係当局との討議議事録

国際協力事業団（以下「JICA」という）が組織し、喜 彦 弘 を団長とする日本側
実施協議調査団（以下「調査団」という）は、中国湖北省林木育種計画についての技術
協力計画の詳細を策定するため、中華人民共和国を訪問した。

中華人民共和国滞在中、調査団は、上記計画の有効な実施のため両国政府がとるべき必
要な措置に関して、中華人民共和国政府関係当局と意見を交換し、一連の協議を行った。

討議の結果、双方はそれぞれの政府に対し附属文書に記載する諸事項について勧告する
ことに同意した。

等しく正文である日本語、中国語及び英語による本書を各々2通作成した。

解釈に相違がある場合には、英語の本文による。

1995年10月31日 北京市にて

喜 彦 弘

喜 彦 弘
実施協議調査団団長
日本国国際協力事業団

楊 禹 畴

楊 禹 畴
国際合作司司長
中華人民共和国林業部

附 属 文 書

I 両国政府の協力

- 1 日本国政府と中華人民共和国政府は、湖北省林木育種計画（以下「当該計画」という）の実施につき相互に協力を行う。
- 2 当該計画は附表Ⅰの基本計画に基づいて実施される。

II 日本国政府によって取られる措置

日本国政府は、日本国において施行されている法律及び規則に従い、日本国政府の技術協力計画の通常の手続きにより、日本国側の負担において、JICAを通じて以下の措置をとる。

1 日本人専門家の派遣

日本国政府は附表Ⅱに掲げる日本人専門家を派遣する。

2 機材供与

日本国政府は、附表Ⅲに掲げる当該計画の実施に必要な資機材（以下「機材」という）を供与する。機材は、陸揚の港あるいは空港にて中華人民共和国側関係当局へCIF建てにて引き渡されることにより中華人民共和国政府の所有となる。

3 研修員受入れ

日本国政府は、日本における技術研修のため当該計画に関係する中国人を受け入れる。

III 中華人民共和国政府によって取られる措置

- 1 中華人民共和国政府は、関係者、受益者グループ及び施設を当該計画に参画させることにより、日本の技術協力期間中及び終了後、当該計画の自己運営が持続されることを保証する必要な措置を取る。
- 2 中華人民共和国政府は、日本の技術協力の結果として、中国の人々にとって必要とされる技術及び知識が中国の経済及び社会発展に貢献することを保証する。
- 3 中華人民共和国政府は、上記Ⅱ-1にいう日本人専門家及びその家族に対し、附表Ⅳに掲げる特権、免税及び便宜を与えるとともに、同様の任務を遂行する第三国また

は国際機関の専門家に劣らない特権、免税及び便宜を与える。

- 4 中華人民共和国政府は、上記Ⅱ－2にいう機材が附表Ⅱに掲げる日本人専門家との協議のもとに、当該計画実施のために有効に使用されることを保証する。
- 5 中華人民共和国政府は、中国人が日本における技術研修から得た知識及び経験が、当該計画実施のために有効に用いられることを確保する。
- 6 中華人民共和国政府は中華人民共和国において施行されている法律及び規則に従い、中華人民共和国側の負担において、下記のを提供するため必要な措置をとる。
 - (1) 附表Ⅴに掲げる中国人カウンターパート及び事務職員の配置
 - (2) 附表Ⅵに掲げる土地、建物及び付帯施設
 - (3) 上記Ⅱ－2のJICAを通じて供与される機材以外で、当該計画実施に必要な機材、器具、計器、車両、工具予備部品及びその他の必要な物品の調達もしくは取替
 - (4) 中華人民共和国における日本人専門家の公務出張に対する交通の便宜及び市内交通費
 - (5) 日本人専門家及びその家族に対する適当な家具付き住居施設
- 7 中華人民共和国政府は、中華人民共和国において施行されている法律及び規則に従い、次の必要な措置をとる。
 - (1) 上記Ⅱ－2に掲げる機材の中華人民共和国における輸送、据付け、操作及び維持に必要な経費
 - (2) 上記Ⅱ－2に掲げる機材に対し、中華人民共和国において課せられる関税、国内税及びその他の課徴金
 - (3) 当該計画実施に必要な運営費

IV 当該計画の管理

- 1 中国林業部国際合作司長は当該計画の実施について全責任を負う。
- 2 湖北省林業庁長は当該計画の運営及び管理について責任を負う。
- 3 日本人チームリーダーは、当該計画の実施に関する事項に関し、当該計画の長に対し必要な提言及び助言を与える。
- 4 日本人専門家は、中国人カウンターパートに対して当該計画の実施に関する技術的

喜

喜

事項において、必要な提言及び助言を与える。

- 5 当該計画を効率的かつ成功裡に実施するために、附表Ⅷに記述される機能及び構成による合同調整委員会が設置される。

V 合同評価

当該計画の評価は、協力期間終了前6か月の間に、達成レベルを検討するため、JICAと中華人民共和国関係当局を通じて、両国政府により行われる。

VI 日本人専門家に対する請求

中華人民共和国政府は、日本人専門家の中華人民共和国内における職務の遂行に起因し、またはその遂行中に、もしくはその遂行に関連して、日本人専門家に対する請求事由が発生した場合には、日本人専門家の故意または重大な過失による場合を除き、その請求に関する全責任を負う。

VII 相互協議

両国政府は、本附属文書から生ずる、あるいは本附属文書に関連する主要事項について相互に協議を行う。

VIII 協力期間

この附属文書における当該計画のための技術協力期間は、1996年1月15日から5年間とする。

喜

博

附 表

I 基本計画

1 当該計画の目標

(1) 上位目標

中国南方各省への林木育種技術の普及による造林木の優良化及び林木遺伝資源の保存の推進に寄与する。

(2) 当該計画の目標

中国湖北省における、林木の優良品種の生産及び遺伝資源の保存を促進する。

2 当該計画の成果及び活動

(1) 成果

- a 優良品種の育成技術の向上
- b 遺伝資源の保存技術の開発

(2) 活動

- a プラス木の選抜、交配、検定技術の開発
- b 採種（穂）園の造成、管理技術の開発
- c 組織培養の無性繁殖技術の開発
- d 遺伝資源の収集、保存、評価技術の開発

II 日本人専門家

1 長期専門家

(1) チームリーダー

(2) 業務調整

(3) 選抜・検定

(4) 採種（穂）園造成管理

((3)又は(4)の長期専門家はチームリーダーを兼ねることができる)

喜

喜

2 短期専門家

関連した分野の短期専門家を必要に応じ派遣する。

III 機材のリスト

- 1 試料測定・分析機材
- 2 データ解析機材
- 3 組織培養機材
- 4 育種試験用種子
- 5 車両類
- 6 その他プロジェクト実行のために必要な資機材

IV 日本人専門家に対する特権、免除及び便宜

- 1 中華人民共和国政府は、海外から送金される報酬に対して、またはそれに関連して課せられる所得税及びその他課徴金を免除する。
- 2 中華人民共和国政府は、日本人専門家及びその家族が持ち込む個人的使用品ならびに業務に関連する機材に対して関税を免除する。
- 3 中華人民共和国政府は、医療の便宜を提供する。

V カウンターパート及び事務職員のリスト

- 1 当該計画の長
- 2 当該計画の活動に関連した分野におけるカウンターパート
- 3 事務職員
 - (1) 管理職員
 - (2) 経理職員
 - (3) 通訳
 - (4) 運転手
 - (5) その他必要な職員

喜

喜

VI 土地、建物及び付帯施設のリスト

1 用地

- (1) 苗畑
- (2) 育種材料、遺伝資源保存地
- (3) 技術開発のための試験地

2 建物等施設

- (1) 管理施設
- (2) 研究室
- (3) チームリーダー及びその他日本人専門家のための事務室及び必要な施設
- (4) 機材の据え付け及び保管に必要な部屋及びスペース

3 その他必要な用地及び施設

VII 合同調整委員会

1 機能

合同調整委員会は、少なくとも年1回及び必要が生じたときに開催し、次の機能を持つものとする。

- (1) 当該計画の年次計画を策定する。
- (2) 上記の年次計画により遂行される技術協力活動全体の進捗に関する検討を行う。
- (3) 技術協力活動から生ずる、あるいは、技術協力活動に関連する主要事項につき、検討し、意見交換を行う。

2 構成

- (1) 議長：中国林業部国際合作司長
- (2) 副議長：湖北省林業庁長
- (3) 中国側構成員
 - ：国家科学技術委員会の代表
 - ：中国林業部の代表
 - ：中国林業科学研究院の代表

喜

鳥

- : 湖北省林木種苗管理站の代表
- : 湖北省林業科学研究院の代表
- : 湖北省林木育種センターの代表
- : その他当該プロジェクトの関係者

(4) 日本側構成員

- : チーム・リーダー
- : 業務調整員
- : チーム・リーダーにより指名された専門家
- : JICA中国事務所の代表
- : 必要に応じ、JICAにより派遣された関係者

※在中国日本大使館員はオブザーバーとして出席できる。

喜

場

THE RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN THE JAPANESE IMPLEMENTATION SURVEY TEAM
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF
THE GOVERNMENT OF THE PEOPLE'S REPUBLIC OF CHINA
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE HUBEI PROVINCE FOREST TREE IMPROVEMENT PROJECT

The Japanese Implementation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") of the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), headed by Mr. Hiroshi Kita, visited the People's Republic of China for the purpose of working out the details of the technical cooperation program concerning the Hubei Province Forest Tree Improvement Project.

During its stay in the People's Republic of China, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Chinese authorities concerned in respect of the desirable measures to be taken by both Governments for the successful implementation of the above-mentioned Project.

As a result of the discussions, the Team and Chinese authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Done in duplicate in the Japanese, Chinese and English languages respectively, all three texts are considered equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

Beijing city October 31, 1995.

喜 寿 弘

Mr. Hiroshi Kita
Leader
Implementation Survey Team
Japan International
Cooperation Agency

杨 育 周

Mr. Yang Yuchou
Director-general
Department of International Cooperation
Ministry of Forestry
People's Republic of China

THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of the People's Republic of China will implement the Hubei Province Forest Tree Improvement Project (hereinafter referred to as "the Project") in cooperation with the Government of Japan.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in Annex I.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN

In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take, at its own expense, the following measures through JICA according to the normal procedures under the Technical Cooperation Scheme of Japan.

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

The Government of Japan will provide the services of the Japanese experts as listed in Annex II.

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

The Government of Japan will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in Annex III. The Equipment will become the property of the Government of the People's Republic of China upon being delivered C.I.F to the Chinese authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation.

3. TRAINING OF CHINESE PERSONNEL IN JAPAN

The Government of Japan will receive the Chinese personnel connected with the Project for technical training in Japan.

喜

III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE PEOPLE'S REPUBLIC OF CHINA

1. The Government of the People's Republic of China will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through the full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.
2. The Government of the People's Republic of China will ensure that the technologies and knowledge acquired by the Chinese nationals as a result of the Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of the People's Republic of China.
3. The Government of the People's Republic of China will grant in the People's Republic of China privileges, exemptions and benefits as listed in Annex IV and will grant privileges, exemptions and benefits no less favorable than those granted to experts of third countries or international organizations performing similar missions to the Japanese experts referred to in II-1 above and their families.
4. The Government of the People's Republic of China will ensure that the Equipment referred to in II-2 above will be utilized effectively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to Annex II.
5. The Government of the People's Republic of China will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Chinese personnel from technical training in Japan will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the laws and regulations in force in the People's Republic of China, the Government of the People's Republic of China will take necessary measures to provide at its own expense:
 - (1) Services of the Chinese counterpart personnel and administrative personal as listed in Annex V ;
 - (2) Land, buildings and facilities as listed in Annex VI;

喜


喜

- (3) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the Equipment provided through JICA under II- 2 above ;
 - (4) Means of transport and travel allowances within the People's Republic of China and fares within city areas for the Japanese experts for official travel ;
 - (5) Suitably furnished accommodation for the Japanese experts and their families.
7. In accordance with the laws and regulations in force in the People's Republic of China, the Government of the People's Republic of China will take necessary measures to meet :
- (1) Expenses necessary for the transportation within the People's Republic of China of the Equipment referred to in II- 2 above as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
 - (2) Customs duties, internal taxes and any other charges, imposed in the People's Republic of China on the Equipment referred to in II- 2 above;
 - (3) Running expenses necessary for the implementation of the Project.

IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Director-general of the Department of International Cooperation of the Ministry of Forestry, as the Project Director, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
2. The Director of the Department of Forestry of Hubei Province, as the Project Manager, will be responsible for the managerial and technical matters of the Project.
3. The Japanese Team Leader will provide necessary recommendations and advice to the Project Director and the Project Manager on any matter pertaining to the implementation of the Project.
4. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to Chinese

喜



counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.

5. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in Annex VII.

V. JOINT EVALUATION

Evaluation of the Project will be conducted jointly by the two Governments through JICA and Chinese authorities concerned, during the last six months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Government of the People's Republic of China undertakes to bear claims, if any arise, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the People's Republic of China except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two Governments on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

VIII. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be five (5) years from January 15, 1996.

喜

ANNEX

I. MASTER PLAN

1. Objective of the Project

(1) Overall Goal :

To contribute to the preservation of genetic resources and the improvement of forest tree in the southern districts of the People's Republic of China, through the extension of technologies in forest tree breeding.

(2) Project Purpose :

To preserve genetic resources and promote the production of superior varieties of forest trees in the Hubei Province of the People's Republic of the China.

2. Outputs and Activities of the Project

(1) Outputs of the Project :

- a. To improve the technologies for superior variety production.
- b. To develop the technologies of genetic resources preservation.

(2) Activities of the Project :

- a. To develop the technologies of selecting, crossing and testing of plus trees.
- b. To develop establish a seed orchard (scion garden) and the method of orchard management.
- c. To develop asexual propagation technology of tissue culture.
- d. To develop the technologies of genetic resources collection, preservation and evaluation.

II. JAPANESE EXPERTS

1. Long-term experts:

- (1) Team Leader
- (2) Coordinator
- (3) Selection and testing
- (4) Seed orchard (Scion garden) establishment and management

Note: (3) or (4) experts can hold Team Leader concurrently.

喜

喜

2. Short-term experts

Short-term experts will be dispatched when the need arises, for the smooth implementation of the Project.

III. LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. Equipment for measurement and analysis of samples
2. Equipment for data analysis
3. Equipment for tissue culture
4. Seeds for breeding tests
5. Vehicles
6. Other equipment and materials necessary for the implementation of the Project

IV. PRIVILEGES, EXEMPTIONS AND BENEFITS FOR JAPANESE EXPERTS

1. The Government of the People's Republic of China will grant exemptions from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with the living allowance remitted from abroad.
2. The Government of the People's Republic of China will grant exemptions from customs duties on the importation of personal effects by the Japanese experts and their families as well as on the importation of machinery and equipment related to their activities.
3. The Government of the People's Republic of China will provide medical services.

V. LIST OF COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Head of the Project
2. Counterpart personnel in the fields concerned with the Project's activities
3. Administrative personnel
 - (1) Administration staff
 - (2) Accounting staff

李
喜

楊

- (3) Interpreters
- (4) Drivers
- (5) Other necessary staff

VI. LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

1. Land

- (1) Nursery
- (2) Land for breeding and genetic resources preservation
- (3) Experimental land for technology development

2. Building and facilities

- (1) Administration room
- (2) Research laboratory
- (3) Offices and necessary facilities for the Japanese Team Leader and the other experts
- (4) Rooms and space for installation and storage of the Equipment

3. Other necessary land and facilities

VII. JOINT COORDINATING COMMITTEE

1. Functions

The Joint Coordinating Committee will meet at least once a year and whenever the need arises, and work:

- (1) To formulate an Annual Work Plan of the Project ;
- (2) To review the overall progress of the technical cooperation activities carried out under the above-mentioned Annual Work Plan ;
- (3) To review and exchange views on major issues arising from or in connection with the technical cooperation activities ;

2. Composition

- (1) Chairman: Director-general, Department of International Cooperation, Ministry of Forestry, the People's Republic of China

喜

(2) Deputy Chairman: Director, Department of Forestry of Hubei Province, the People's Republic of China.

(3) Chinese Members:

- : Representative of the State Science and Technology Commission
- : Representative of the Ministry of Forestry
- : Representative of the Chinese Academy of Forestry
- : Representative of the Hubei Forest Tree Seeding Management Station
- : Representative of the Hubei Academy of Forestry
- : Representative of the Hubei Province Forest Tree Improvement Center
- : Other personnel concerned with the Project

(4) Japanese Members

- : Team Leader
- : Coordinator
- : Other Expert(s) nominated by the Team Leader
- : Representative of the JICA China Office
- : Personnel to be dispatched by JICA as required

N.B.: Official(s) of the Embassy of Japan may attend the Joint Coordinating Committee as observer(s).

喜



关于中国湖北省林木育种计划技术合作项目会谈纪要

为制定中国湖北省林木育种计划技术合作项目的详细计划,由日本国际协力事业团(以下简称JICA)派遣的喜多弘为团长的日本实施协议调查团(以下简称调查团),访问了中华人民共和国。

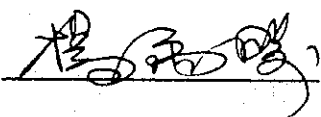
在中华人民共和国停留期间,中华人民共和国有关部门与调查团就两国政府有效实施上述项目应采取的必要措施交换了意见,并进行了一系列讨论。

讨论结果,中华人民共和国有关部门与调查团同意就附件所记录的各项事宜报告各自的政府。

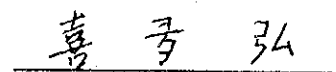
本会谈纪要用中、日、英文写成,各两份,具有同等效力。在解释上若有分歧时,应以英文文本为准。

北京

1995年10月31日



杨 禹畴
国际合作司司长
林业部
中华人民共和国



喜多 弘
实施协议调查团团长
国际协力事业团
日本国

附件

I 两国政府间的合作

1. 中华人民共和国政府同日本政府合作，实施中国湖北省林木育种计划项目（以下简称“项目”）。
2. 项目按附表 I 所列的总体计划实施。

II 日本国政府应采取的措施

根据日本国政府的现行法律和法规，由日本国方面负担费用，按照日本国政府技术合作方式通常的手续，通过 J I C A 采取以下措施：

1. 派遣日方专家

日本国政府派遣附表 II 所列的日方专家来华工作。

2. 提供器材

日本国政府提供附表 III 所列的实施项目所必要的仪器、设备及其他材料（以下称器材）。器材在港口或在机场，以到岸价格（C I F）交付中华人民共和国有关部门，器材自交付中方之时起即成为中华人民共和国的财产。

3. 接受进修人员

日本国政府接受与项目有关的中方人员赴日本进行技术进修。

III 中华人民共和国政府应采取的措施

1. 中华人民共和国政府协调所有有关部门、受益团体和设施，充分地积极地参与项目，采取必要的措施以确保合作实施中及结束后项目的自主运行。
2. 中华人民共和国政府应保证使中方人员在同日本国技术合作中所得到的知识和技术贡献于中国经济、社会的发展。
3. 中华人民共和国政府对于上述 II - 1 项中所指日方专家及其家属应予享受

喜

喜

附表IV中所列的在中华人民共和国境内享有的优惠待遇、免税及方便,以及与执行同样任务的第三国或国际机构的专家所享有同样的优惠待遇、免税及方便。

4. 中华人民共和国政府应确保通过与附表II所列的日本专家协商,为项目的实施有效地利用上述II-2项的器材。

5. 中华人民共和国政府应采取必要的措施,以保证中方人员在日本技术进修中学到的知识和经验有效地应用到项目实施中去。

6. 根据中华人民共和国的现行法律和法规,由中国方面负担费用,采取下述必要的措施:

(1) 配备附表V所列的中方对口人员及办公人员;

(2) 提供附表VI所列的土地、建筑及设施;

(3) 提供或更换除上述II-2中通过JICA提供的器材以外,项目实施中所必须的机器、设备、器具、车辆、工具、备件及其他材料;

(4) 提供日本专家在中华人民共和国境内公务出差交通上的方便以及市内交通费;

(5) 为日本专家及其家属提供适当带有家具的住宿设施。

7. 根据中华人民共和国的现行法律及法规,中国政府应采取必要的措施以满足:

(1) 上述II-2的器材在中国境内运输、安装、操作及维修所必须的费用;

(2) 上述II-2的器材在中国境内所要缴纳的关税、国内税及其他押金、手续费等;

(3) 项目实施所必要的运营费用。

IV 项目管理

1. 中华人民共和国林业部国际合作司司长作为项目的总负责人,承担项目的实施和管理方面的责任。

楊

喜

2. 中国湖北省林业厅厅长作为项目的执行负责人, 承担项目的执行和技术事项的责任。

3. 日本专家组长将对实施项目中所包含的任何问题向项目总负责人和执行负责人提供必要的建议。

4. 日本专家对中方对口人员就项目实施的有关技术问题给予必要的技术性指导和建议。

5. 为使项目有效而成功地实施, 应建立一个联合协调委员会, 该委员会的作用与组成如附表 VII 所述。

V 联合评估

为确认项目的进度, 在合作期限終了前 6 个月, 由两国政府通过 JICA 和中国有关部门共同对项目进行评估。

VI 对日本专家的索赔要求

当从事项目合作的日方专家在中华人民共和国国内, 由于执行该项目任务或在执行过程中或与执行该项目有关工作而发生对其提出索赔要求时, 中华人民共和国政府应对其索赔承担责任。但由于日方专家的故意行为或其它重大过失所引起的索赔不在此限。

VII 相互协商

两国政府对由附件产生的或与此相关的一切重要事项, 应相互协商。

VIII 合作期限

按照本附件规定, 项目的技术合作期限, 自 1996 年 1 月 15 日开始, 为期 5 年。



附表

I 项目的总体规划

1 项目目标

(1) 最终目标

通过普及林木育种技术,为中国南方各省造林树种的优良化和林木遗传资源的保存做出贡献。

(2) 项目目标

促进中国湖北省林木优良品种的生产及遗传资源的保存。

2 项目的成果及活动

(1) 成果

- a 优良品种培育技术的提高
- b 遗传资源保存技术的开发

(2) 活动

- a 优良单株选拔、杂交、鉴定技术的开发
- b 采种园、采穗圃的建立及管理技术的开发
- c 组织培养无性繁殖技术的开发
- d 遗传资源的收集、保存、评价技术的开发

II 日本专家

1 长期专家

(1) 专家组长

(2) 业务协调员

(3) 选优、鉴定

(4) 采种园、采穗圃的建立和管理

((3) 或 (4) 的长期专家可兼任专家组长)

2 短期专家

根据需要派遣有关领域的短期专家

III 器材清单

1. 试料测定、分析器材
2. 数据解析器材
3. 组织培养器材
4. 育种试验用种子
5. 车辆
6. 项目执行所必要的其它器材

IV 日本专家的优惠待遇、免税及方便

1. 中华人民共和国政府对日本专家海外汇款及与此有关的所得税及其它征税予以免除。
2. 中华人民共和国政府对日本专家及其家属携带入境的个人用品以及与业务有关的器材免征关税。
3. 中华人民共和国政府提供医疗方便。

V 中方对口人员及工作人员

1. 项目负责人
2. 项目内容有关的中方对口人员
3. 工作人员
 - (1) 管理人员
 - (2) 财会人员



- (3) 翻译
- (4) 司机
- (5) 其他必要的工作人员

VI 土地、建筑物及其附属设施清单

1. 用地

- (1) 苗圃
- (2) 育种材料、遗传资源保存
- (3) 技术开发试验地

2. 建筑物等设施

- (1) 管理设施
- (2) 研究室
- (3) 日方专家组长、日本专家的办公室和其它必要的设施
- (4) 器材的安装及保管所必要的房间和空间

3. 其它必要的用地及设施

VII 联合协调委员会

1. 职能

联合协调委员会至少每年召开一次会议，必要时可临时召开会议，

其职能如下：

- (1) 制定项目年度计划
- (2) 讨论上一年度计划的总体进展情况
- (3) 就技术合作计划本身所产生的或与之有关的主要事项进行讨论并交换意见

2. 组成



(1) 委员会主席：中国林业部国际合作司司长

(2) 委员会副主席：湖北省林业厅厅长

(3) 中方人员的组成

国家科学技术委员会代表

中国林业部代表

中国林业科学研究院代表

湖北省林木种苗管理站代表

湖北省林业科学研究院代表

湖北省林木育种中心代表

其他与该项目有关人员

(4) 日方人员的组成

专家组长

业务协调员

由专家组长指定的专家

JICA 中国事务所代表

根据需要, 由 JICA 派遣的有关人员

(备注) 日本驻华大使馆人员可作为观察员出席联合协调委员会



供与機材計画（案）

これまでの調査結果から必要となると想定される機材について、下記のとおりまとめる。

品名	数量	規格（参考銘柄等）
1. 試料測定・分析機材		
pHメーター	3	堀場、(カスター、LABF-13)
オートクレーブ	1	トミー精工、RS-325,100V,20A,
ガラス器具保管庫	2	プラス、(SG-635R,SS-653R,SS-653B)1760*515*880
クリーンベンチ	1	池本理化、(CCV-1311),1940*800*2010
サイド実験台	8	ヤマト、(FUD\$-247G),2400*750*800
ビベット洗浄器	1	三光医理化、AB-1型
超音波洗浄器	1	島津、(SUS-300)
チップ洗浄器	1	三光医理化、ラコム蟻橋式
ファイバー光源装置	1	島津、(FLH-50,2B形ガイド付)
マグネチックスタラー	2	島津、(SST-66,6連式独立制御)
マグネチックスタラー	2	島津、(SST-170)
光学機器収納庫	1	池本理化、(ドライパー-C-3BS型),300*395*615
高速冷却遠心機	2	島津、(CST-151-MT),100V,20A,370*425*840
ローター	2	島津、(TMS-4)
ローター	2	島津、(TMA-4)
作業台	6	池本、(IRU-108D),2400*900*800
実験用回転椅子	12	プラス、(KC-220SL)
純水製造装置	2	ヤマト科学、(WL-100+WG-200),100V,15A,180*820+570*590*730
製氷器	2	池本理化、(F-120C),100V,15A,600*600*800
中央実験台	1	池本理化、(IGS-127,W:4350mm),4350*1500*800
中央実験台	1	池本理化、(IGS-127S,W:3150mm),3150*1200*800
超音波洗浄器	2	島津、(SUS-200H),100V,4.5A,325*176*292
電子天秤	2	島津、EB-340HW,(340g/0.001g)
電子天秤	2	島津、EB-4300DW,(4300g/0.1g)
乳鉢	500	化陶形、径65mm,乳棒付
6連式電気泳動槽	2	日本エイドー、(NA-1116)
電気泳動用電源装置	2	日本エイドー、(NC-1017)
6連式光重合装置	2	日本エイドー、(NA-1116-1)

品名	数量	規格(参考銘柄等)
1. 試料測定・分析機材		
6連式ゲル作成台	2	日本エイドー、(NA-1116-2)
泳動プレート(切込)	24	日本エイドー、(NA-1100-1)
泳動プレート(スパーサー付)	24	日本エイドー、(NA-1100-2)
シールチューブ	36	日本エイドー、(NA-1100-14)
サンプルコーム	12	日本エイドー、(NA-1100-19)、20検体用
サンプルコーム	12	日本エイドー、(NA-1100-23)、25検体用
ホットプレート	2	井内(HP-4530)
顕微鏡写真撮影装置	1	オベクト、(AFX-DX-35)
重金属廃液処理装置	1	ヤマト科学、EF60,100V,30A,900*760*1745
超高速万能ホモジナイザー	1	ポリトロン、(PT&KR)
遠心濃縮装置	1	Savant,dna-110,ローター付
紫外可視分光解析システム	1	ベックマン、DU-600
遺伝子増幅装置	2	MJ、Research,PTC-100-96V+Hot Bonnet
トランスイルミネーター	1	トミー精工、TI-100
DNA写真撮影装置	1	トミー精工、IC-100
軟X線装置	1式	X線投射機、テントメーター、オートゲイター、恒温現像槽ほか
画像解析装置	1式	高解像度TVカメラ、写真撮影装置、画像処理装置ほか
遠心分離器(スイングローター付)	1	島津、(CTS-050L1,5000回転),420*505*330
振とう器	1	ヤマト科学、SA-31型
真空ポンプ	1	島津、(GVD-165A)
光安定性試験器	1	東京理化,LST-300,+5~60℃,100V,19A,720*880*1810 湿度50~90%,照度0.1~5000Lx
簡易泳動槽	4	アドバンス、ミュービット
恒温水槽	2	東京理化、(SB-650)
試料粉碎器	1	ヤマト科学、ラボミルUT22
理化学分析機器		ガラス器具、計量機器他
化学薬品		塩酸、硫酸、アンモニウム他
アイソザイム試薬品		酵素、染色剤
DNA分析資材		抽出試薬、酵素、ポラロイドフィルム他

品名	数量	規格(参考銘柄等)
2. 組織培養機材		
無停電電源装置	1	UPI010,PC1KVA,AC220V,10分
流し台	3	池本理化、(ISN-104),1800*750*800
流し台	4	池本理化、(ISN-102),1200*750*800
低温恒温水槽	1	東京理化、(UC-65)
タッチミキサー	3	ヤマト、MT-31
薬品器具戸棚	2	池本、(K-102),1500*400*1800
薬品保冷库	2	日本フリーザー、RC-M501,+4℃,100V,5.1A,900*600*1800
冷凍冷蔵庫	2	日本フリーザー、3559,100V,756*803*1498
超低温フリーザー	1	日本フリーザー、CL-700,-95℃,3φ200V,15A,2150*850*1050
送風低温恒温器	1	ヤマト、DK600,AC100V,14A
マイクロチューブミキサー	1	タイテック、EM-36ラック付
液体窒素貯蔵庫	1	MVE社、XC-33/22
液体窒素運搬容器	2	日本フリーザー、DLS-50B
電子レンジ	1	東芝、(ER-AS7)
生物顕微鏡	1	ニコン、オプティカル2倍、対物セット
実態顕微鏡	2	ニコン、SMZ-2B-2
クリーンルーム	1	柴田、C-2736、3500*2600*2850
培養棚	4	ヤマト、MLR-1546、1520*460*1800
台秤	1	2kg
台秤	1	500g
台秤	1	15kg
発根促進剤		オキシロン粉剤他
化学薬品		
3. データ解析機材		
パーソナルコンピューター	7	NEC9821XF/c9w,CD-ROM,540MBHD,7.6MB,3.5inchFD対応
パーソナルコンピューター	1	NEC9821Xt13,4倍速,1.2GBHD,16MBメモリー
パーソナルコンピューター	1	Digital Celebris GLST5133,4倍速,1.2GBHD,16MBメモリー
パーソナルコンピューター	1	Apple,PowerMac9500/130,4倍速,1.0GBHD,32MBメモリー
ディスプレイ	1	NEC,Multisync 17pro
ディスプレイ	1	Sony,17inch,トリートンマルチスキャンディスプレイ
ディスプレイ	1	Apple,17inch,マルチスキャンディスプレイ
キーボード	1	Apple,拡張キーボード

品名	数量	規格(参考銘柄等)
3. データ解析機材		
MOドライブ	1	ICM,PRO 230S-ISF(98用)
MOドライブ	1	ICM,PRO 230S-ISF(DOS/V用)
MOドライブ	1	ICM,PRO 230S-ISF(Mac用)
MOディスク	7	
パソコンラック	1 1	プラス、FP-650J,726*770*1267
増設メモリー	2	Melco 8M (ペンティウム用)
ノート型パーソナルコンピューター	1	NEC9821Np/540w
増設メモリー	1	NP34-160M
プリンター	1 0	Epson Lp 8500, windows, dos対応, トレイ増設
プリンター (小型)	1	キャノン、BJC-35V
ユニバーサルACアダプター	1	ユニバーサル、AD-350u
インターフェースケーブル	1	
プリンターケーブル	1 3	PC 9 8 用 1 1 本、DOS用 1 本、Mac用 1 本
プリンターケーブル	3	KPU-98LW/3K
ソフト	1	Basic(MS-DOS版)
ソフト	1	MS Office for Macintosh(CD-ROM版)
ソフト	1	MS Office(Excel, Word, Power Point, Access)
ソフト	1	一太郎 Ver.6 for windows
ソフト	1	LOTUS 123 for windows
4. 育種試験用種子		
カラマツ種子	5 kg	産地別、系統別約 1 0 0 種
ポプラ穂木		系統別
5. 車両類		
ジープタイプ車両	1	トヨタ、70K, ハンタイブ、AZJ77H-MEU, 4ト7、4WD
マイクロバス	1	トヨタ、ハイエスコムタ、LH125B-ZRMDS, 15人乗り
ピックアップトラック	1	ニッサン、D21, 4WD, エアコン付
軽トラック	1	スバル、KS4E32N-AX
ホイールタイプトラクター	1	クボタ、M6030DT型、4WD
ディスクハロー	1	クバキタ、DHT、2420型
ディスクプラウ	1	クバキタ、DPT、263型
ロータリーカッター	1	スター、MRC150C型
フロントローダー	1	クバタ、THL6030-A型

品名	数量	規格(参考銘柄等)
5. 車両類		
フロントローダ用爪付バケット	1	ホセキ、LCBH6030型、バケット容量0.4m ³
耕耘機	1	ホセキ、KRA75-R
トレーラー	1	テリカ、dz-2b-2500kg積み
リバーシブルプラウ	1	ニプロ、MR-83N、ウエイト付
6. その他プロジェクト実行に必要な機材		
穂木貯蔵室(プレハブ)	1	日本フリーザー、PR-2
自動化温室	2	ミスト装置付、天窗、側窓自動開閉、薪類暖房
スプリンクラー装置	1	ES-B型
ビニールトンネル	1式	タカハ、7S-7、W1200×H750×L2100mm
クリノメーター	2	スチール製、金属製改良ケース付き
コンパス	2	牛方S-25トラコン
プランニメータ	2	タマヤ、プランニメータ5000
メートル縄	3	エスロン製、50m
メートル縄	2	エスロン製、100m
メートル縄巻取り器	5	スチール製
巻尺	2	エスロン製、30m
成長錘	3	長さ40cm、径10mm
成長錘	5	長さ50cm、径5.15mm
測竿	5	逆目盛10m
測竿	3	逆目盛12m
測高器	1	ブルメライスBL-6
直径巻尺	2	布製5m
デジタルノギス	3	タマヤ、MAX-15
輪尺	4	手押し式
標準土色帳	4	
スマックウインチ	1	チルホル、TU-16、1600kg
チェンソー	2	共立、SV3800D
ベルカッター	2	共立、N-263DH
ベルトコンベアー	1	MC-35SP1-7M
動力噴霧器	1	共立、NS410ENR-2M
動力散布機(肥料兼用)	1	共立、MD6020TS
背負式人力噴霧器	1	丸山製作所、MH-15P

品名	数量	規格(参考銘柄等)
6. その他プロジェクト実行に必要な機材		
土壌消毒機	1	共立,MI-A2502
腰鉋	5	二丁差鋸鉋(中:240mm)
剪定鋸	5	腰鋸玉烏竹挽き鋸
剪定鋏	5	国之長剪定鋏(180mm)
唐鋏	10	
平鋏	15	
スコップ(丸型)	7	
スコップ(角型)	3	
ポール	3	2m2本継ぎ
脚立	3	H=1.8m
安全ベルト	3	中桐式タイタン柱上安全帯
花粉銃	20	
篩	1	ふるい12種受け蓋付き
種子風選機	1	アミクワ,HF-1
ペーパーポット	2	日本甜菜糖、#FS315 3.8×15.0cm、52冊入
ペーパーポット	1	日本甜菜糖、#FS415 4.1×15.0cm、60冊入
ペーパーポット	1	日本甜菜糖、#FS515 5.0×15.0cm、72冊入
ペーパーポット用トレイ	40	PPトレイ、40×60cm
2、3連式梯子	2	アミクワ式2連 (aw-760)
枝打ち梯子	2	L600
アイスボックス	1	
高枝切り鋏	3	
双眼鏡	1	倍率×10
スライド映写機	1	コクヨ、JSL、私=253AF
スライド作成機	1	ポラロイド、IPC-2
現像機	1	ポラロイド、電動プロセッサ
8ミリビデオカメラ	1	VHS-NV-S58
カメラ	1	キャノン、EOS
カメラ	1	ニコン、F3、ニッコール50mmF1.4S付き
カメラ	2	Fuji,スパー-115
ズームレンズ	1	ニコン、AFED,F2,8D,80-200mm
テレビ	1	20インチ以上

品名	数量	規格(参考銘柄等)
6. その他プロジェクト実行に必要な機材		
ビデオ	1	VHS対応
OHP	1	プラス、CX-500
コピー機	1	コニカ、U-BIX7315F,1200*1700*1000
エアコン	1 2	セゾンCS-G50R2,単相200V
高所作業車	1	サワ車両,ML502E,最大地上高3.0m
土壌混合機	1	K-380,110-120
ロータリー	1	MX1905-4L,1900mm
ボーガン式採穂器	1式	ボーガン、ソーチェン3本、ロープ類
デジタイザー	1	グラフチック、KW-1210
FFTアナライザー	1式	ハンドヘルドアナライザー、マイクロン、メモリーカード、プリアンプ、パソコン用ケーブル他
気象観測装置	1	自動温度計
気象観測装置	1	自動湿度計
気象観測装置	1	自動風向風速計
気象観測装置	1	自動雨量計
薬剤類(苗畑用)		殺虫剤、殺鼠剤、殺菌剤、除草剤、展着剤、蒸散抑制剤
肥料類		土壌改良材、燐、カリ、窒素肥料等
着花促進剤		ジベレリン

